

富士川

5月号 昭和44年5月25日

NO.106

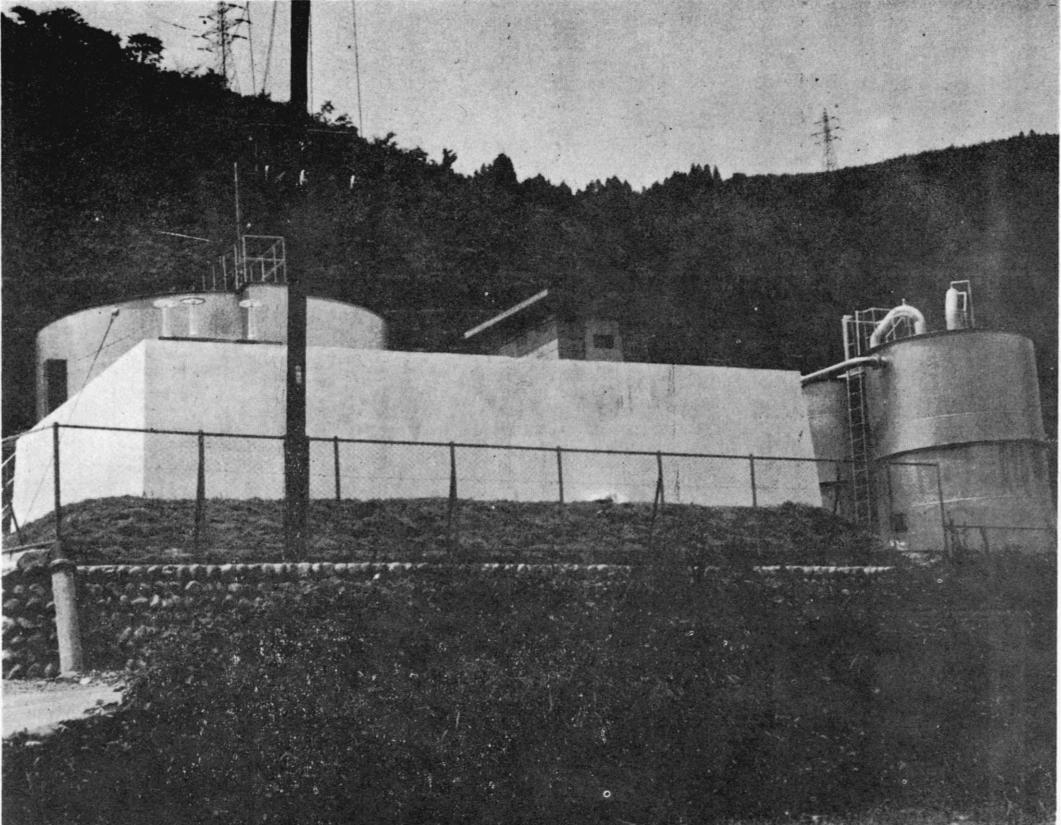
富士川町役場発行

富士川町岩淵121番地
電 話 1 1 1 1

町 の 人 口

44.5.1 現在	15,168人
男	7,492人
女	7,676人
世帯数	3,387世帯
(面積)	31.09km ²

印刷/望月印刷所 T 670304



—◆ 写真・吉津浄水場 ◆—

水道第一期拡張工事完成

吉津沢の表流水を自然流下によりこの吉津浄水場へ導入し、浄水後、役場裏山までパイプで送水、新設第二配水池へ。配水池から一般家庭、事業所へ。(関連記事2面)

上水道拡張工事完成

貯水量、以前の三倍

上水道第一期拡張工事が完成し、その完工式が、五月十日に行なわれました。当町の上水道は、昭和37年に斎藤邦雄町長が創設、以来、わたくしたち町民は、はかり知れない恩恵を受けてきました。

しかし、最近、工業用水および水道用の地下水の使用量が年々増大する反面、富士川の伏流水の水量が低下、上水道給水に将来の不安がかげり始め、これに加えて、富士川サーブリエリア等の大口使用者による急激な配水量の増大という問題に直面、上水道の拡張を行なうことが必至となったわけです。

水源は吉津沢の

豊富な表流水

町は、水源を吉津沢の表流水に求めて、吉津浄水場と高区配水池を施設、役場裏山の既設配水池隣りに新たに第二配水池を建設し吉津から送水、今後の町発展にも困らない大量な浄水確保を果たしました。この裏面、水道の公共性を理解し、協力を惜しまなかった吉津沢利用者五十余名の方に、町当局はじめ関係者は、深く感謝しています。

■第一工区
 工事内容
 水源施設・浄水基礎工事・薬品

注入室・滅菌室・高区配水池および付帯工事
 (株)若月組

■第二工区
 布設工事(導水管・配水管・送水管)第二配水池管工事
 富士宮市 芦沢設備工業(株)
■浄水機械設備
 薬品沈でん装置・急速ろ過機・薬品注入・装置滅菌施設および付帯配管電気工事一式
 東京都・東浄水機械工事(株)

■第二配水池
 配水池築造

■受配電設備	岐阜市・(株)安部工業所
場内電燈施設	中部電力よりの受配施設・浄水
静岡市・(株)伊東工業所	
事業費	(単位・万円)
工事請負費	三・六四〇
用地および補償費	三六五
事務費	一四〇
計	四・一四五
財源	
企業債	三・六〇〇
一般会計繰入金	四五〇
自己資金(水道会計)	九五
計	四・一四五

既設ならびに今回の拡張工事によって、計画給水人口は計画一人あたり一日四百リットルとしても一万三千人分の給水量が確保され

写真 通水式・中川町長



ます。(五月現在、上水道利用者人口 九二三五人)

長時間の停電や

非常災害に耐え得る

とくに、今回の拡張施設は、自然流下による貯水のため、また、貯水量が、既設六四〇トンに拡張による一・二二〇トンを加え一・八六〇トンと一躍倍増したため、長時間の停電や火災等の非常災害に、万全を期し得ることができるようになりました。

水道普及率98%

住みよい町の第一要素獲得

昨年度における松野地区簡易水道総合事業(関連記事・42年9月号5P)と四十九簡易水道の布設とも合わせ、水道普及率は98パーセントと充足されます。

町民の文化生活は、これにより

一段と高められ、住みよい町としての大きな要素が獲得されたといえます。

四十九簡水も完成

受益戸数四四戸

新町四十九地区(五日現在・一八六戸・戸数四四戸)を対象に、四十九簡易水道が施設されましたことし一月二十日に着工、三月二十五日に完成。

斎藤組(斎藤勝蔵代表)の請負により施工。

水源は、伏流水式の取水井で、導水管により緩速ろ過池に入れ、ろ過した後配水池へ送水、配水池スラブ上に滅菌室を設けて塩素滅菌し、配水池から配水管で四十九一円の各戸へ導水するものです。消火栓三カ所、制水弁と泥吐各一カ所が設けられています。事業費は四二〇万円、財源内訳は次のとおり。

国庫補助金	九六万六千円
県費	六四万四千元
起債	二〇〇万〇〇円
一般財源その他	五九万〇〇円

教育委員会事務局に
 直通電話
 81・一〇〇三

交通便利をはかり

塵埃公害を防止、交通安全に対処する

最近の町道改良工事の展望

岩淵小池下線

舗装工事

日の出町から東町・富士川製紙(株)グラウンドを結ぶ間の舗装工事です。

着工 昭和44年2月1日
完工 " " 4月26日

請負人 若月 栄
舗装延長 七二五m
" 幅員 五"

L型溝 一七一"
工法 上層路盤工 3cm
表層工アスファルト5"

総工費 五〇〇万円
財源 法人寄付 一七五万円
起 債 三〇〇"
一般財源 二五"

この完成により、各事業所および一般民家への塵埃公害を防止、交通の便がよくなりました。

原方中野線

舗装工事

県道富士川富沢線からほいで伍詰(株)富士川工場へ通ずる路線の舗装工事です。

着工 昭和43年10月15日
完工 " " 12月23日

請負人 松本工業(株) 富士市

舗装延長 三六〇m

" 幅員 六"

工法 上層路盤工 10cm

表層工アスファルト5"
センターライン五〇〇m

総工費 四三一万九千円

(舗装三八三万九千円・付帯四八万円)

財源 寄付 一八五万〇千円

一般 二四六万九千円

これにより、食品工場、一般住宅への塵埃公害を防止、また、岩盤の切り取りで、見通しが良好となり、交通事故防止に役立っています。

軽金踏切

拡幅工事

着工 昭和44年1月18日
完工 " " 2月16日

請負人 (株) 若月組
延長 一九・七m
幅員 五・八"

総工費 三〇九万円
財源 国庫補助 二〇六万円
法人寄付 六二万

一般財源 四千万
六千円

(ほかに国鉄負担 七〇万
二千円)

今までは、幅員三メートルで、

自動車線路上に落車するほか、車のために歩行者の通行が危険で

したが、これで交通安全が期せられるようになりました。

44年度のおもな工事

(関連記事43年2月号4P)

- ① 都市計画街路事業五六〇メートル、幅員一六メートルの岩淵小池下線(イハラケミカル前より浦原町界まで)の工事。
耕土の削り取り、盛土工事を施工します。
事業費は、用地買収繰越分を含め、二千万円です。
- ② 単独都市計画街路街形富士川線(幸町より富士川堤防までの町界道路・延長六〇〇メートル幅員二二メートル)は、用地買収がほぼ完了しましたので、道路の築造工を堤防から約三〇〇メートル施工する予定です。
事業費は一千万円で、大部分起債を予定しています。
- ③ 岩淵小池下線舗装続工工事。
富士川製紙(株)グラウンドより旭町のガードまで延長約四百メートル。
- ④ 新町下線舗装工事。
延長 三七〇メートル幅員五メートル。
- ⑤ その他、松野地区では、富士川由比線および原方池野線、大北半在家線の改良が計画されています。
- ⑥ 日の出町に低所得ならび福祉住宅五戸の建設。

一市四町協議会

風洞実験視察

一市四町協議会は、五月十六日から十八日までの三日間、大気汚染風洞実験では、日本で第一の權威を誇る、長崎の三菱重工業(株)技術本部長崎研究所(釜口展宏博士・大気汚染問題政府委員)を視察しました。(当町参加者・高岡助役・加藤産業課長・芦川議員 斎藤(昌)議員の四氏)
実験は、二市四町全域三千分の一の模型上で、風速毎秒3mと6mとに限り行なわれましたが、当町方向の風では、河口から22KMの地点以上(当町10KM範囲)から〇・〇一PPMの汚染を記録。

太田利三さん 東京で晴れの個展

障害にめげず絵筆

広報ふじかわの連載マンガ「のら」の執筆者、太田利三さん（30歳・坂下）が、東京で晴れの個展を開き、各方面から注目を浴びています。

この「太田利三個展」は、五月六日から十六日までの十一日間、東京・新宿コマ劇場のカドーギャラリーで開催され、八号を中心とした太田さんの初期の作品から最近作まで計二十二点のバステル画が出品されました。

太田さんは、生後六十七カ月のころポリオ脊髄性小児マヒにおかされ、両足がきかず、このため小学校にも通えず、もの心がつくに連れ暗い気持ちに閉ざされていきましたが、周囲のあたたかい励ましに奮起、絵筆に一生を託す決意を固め、精進につぐ精進の結果、今回の個展開催の運びとなったものです。

作品、生の証しを表現

多くの声援にこたえる

作品は、緑やピンク系統の明るい色彩が豊富にとり入れられ、構図も大胆で楽しい詩を表現しており、長年の心身の苦闘を乗り越えたあとの生の証しだが、多くの人を魅了し尽くしました。

太田さんは、はじめ、星を主題とするマン画からはいり、すでに

情緒豊かな作品をものにし、またが、歩けない太田さんにとって唯一の慰みである「お星さま」との対話が人の胸をうったものです。この間、実兄の遠藤進夫さん（33歳・富士宮市・詩人）が、学校で学んできたことを、手にとるように弟の太田さんに教え、一般教養を身につけました。

太田さんの絵の才能を、遠藤さんの知人で日本美術院院友の野上魏さん（56歳・富士宮市）が高く評価、二年前から日本画を基本か

■太田利三さんの作品「虫」



ら教え込み、これにより、太田さんはメキメキ上達しました。

今度の個展は、野上さんが、カドーギャラリー経営者に話したところから実現したもので、中央文化の高い鑑識眼にも耐え得る作品であることを立証しました。

富士川町では、この話を聞き、中川国兵衛長をはじめ、富士川町手をつなぐ親の会（金指基三会長）富士川町社会福祉協議会（会長 中川町長）富士川町善意銀行、蒲原ライオンズクラブ（山本幾太郎会長）などで六万円の愛のカンパを寄せています。

太田さんの話「絵筆を手にするようになって生きるようこびを得ました。多くの人たちの励ましとご支援により個展を開かせていただき、深く感謝しています。

今後もっと立派な作品をつくり出したい」

遠藤進夫さん（実兄）の話「中央で個展を開けたとは夢のようです。

初心を忘れず世に甘えることなく、一層きびしく研さんを積むところが世の善意にこたえる道だと、弟と話したことです」

税務職員

募集

清水税務署

人事院は、税務職員（国家公務員採用試験）を募集しています。税務職員は、国の活動の源となる「税務」という重要な仕事を担当しており、ことしも東海地区で約二百人を採用する予定です。

○資格 昭和24年4月2日から昭和27年4月1日までに生まれた日本国籍をもつ男子に限ります。学歴は問いません。

○手続 人事院または税務署で、「国家公務員初級試験」の申込用紙を受けとり、所要事項記入のうえ、人事院中部事務局（名古屋市中区三の丸二丁目五の一・名古屋合同庁舎二号館四階）へ送ってください。

○受付期間 六月二十日から七月四日までです。

○試験 9月7日（日）に人事院が全国一斉に行ないますが静岡県では浜松、静岡、沼津の各市で、高校卒程度の教養と適性をそれに作文の試験を行ないます。

○待遇 合格者のなから選考のうち、税務職員（国家公務員）として採用された者は一年間、税務大学校普通科研修生として、全寮制度のもとで税務の専門教育を受けます。在学中の給与は約二万一千四百円、卒業と同時に大蔵事務官に任官し約二万三千五百円となります。

（問合わせ先・清水税務署 総務課）

微風向風速計

一中屋上に取付

町内の風向、風速を調査するため、微風向風速計を七十二万円で購入、五月二日に、第一中学校屋上に取付けました。

大気汚染の科学的裏付資料に加えるため、毎日の風向と風速が時間ごとに自動的に記録されています。

県の資金

最高五十万円

個人住宅建設に貸付

来年三月までに家を建てようとする人で、資金の足りない方のため、県は、最高五十万円まで貸付けします。

いくつかの条件がありますが、対象となる建物が、住宅専用の場合は、床面積が三十平方メートル（九坪）以上二十平方メートル（三十六坪）以下であること、店舗などの併用住宅の場合、非住宅部分の床面積が住宅部分の床面積と等面積以下であることが第一の条件です。

年利は六分五厘、七年間の分割払いです。

申込受付

①申込期限

一回目 6月2日～6月11日
二回目 9月1日～9月10日

二中プール、六月末完成

七コース二五メートル

四月十日午前十時、役場会議室で、町立第二中学校プール建設の入札が行なわれ、日本鋼管（株）静岡営業所（磯田一吉所長）が、一千六百万円で落札しました。

起工式は、四月十四日午前十時現地にて町当局、議会、二中の関係者、施行者十数人を集めて挙行され、現在、工事は順調に進んでいます。

プールの規模は、タテ25メートル、ヨコは7コースをとって15メートル。

工事日程は、4月14日着工、6月30日完成予定。

この第二中学校水泳プールが完成すれば、松野地区の児童生徒の水泳能力、保健体育の向上に著しい好影響を与えるものと期待されます。

教育委員会は、二中プールの一般開放についても一小プール同様考慮していく方針です。使用時間

②受付

静岡銀行・清水銀行両支店

（詳しいことは、町内両支店へお問い合わせください）

自衛隊音楽隊

好評、博す

は、生徒の使用後、夏期の夜間を予定しています。

東部方面（東京）自衛隊音楽隊の演奏会が五月十四日夜七時半から一時間余にわたって、一小体育館で開かれました。

37人の豪華な編成で、歌謡曲、民謡、行進曲の数々が演奏され、武田節、チャッキリ節など、初夏の夕べを楽しもうと集った約七百人の町民皆さんに深い感興を与え好評を博しました。

評価審査委員かわる

評価員に加藤氏

五月七日、任期満了となった富士川町固定資産評価員および固定

資産評価審査委員は、町長の選任三月定例町議会、五月六日の臨時町議会の承認を経て、次のように決定されました。

- ・固定資産評価審査委員 兩宮周司（再）望月貞一郎（現）池上憲（新）
- ・固定資産評価員 加藤美男

声◆ 私の学ぶ通信教育

日本は、通信教育の進んだ国だそうである。しかし、大学通信教育の現状をみたとき、必ずしも喜んでばかりいられない実情であると思う。

大学と名がつくと必ず四十日間のスクーリングが要求される。このスクーリングは、われわれ働く者にとってはたいへんな難題である。第一、休暇をそんなにも取るわけがない。無理してとれたとしても、職場の人に迷惑をかけるのは必然的である。このスクーリングの障害のために、多くの青年が、一度は望んでやる気になったのに、途中であきらめたり、案内書を見て断念しているのではないだろうか。

実は、私もその一人でした。そんな暗い気持ちだったときに、スクーリングのない全国唯一の大学通信教育を知った。それは通信教育大学講座（東京都世田谷区北沢）である。受講資格は、学歴、年齢性別に制限なく、誰でも入学でき

る。受講料は、働きながら学ぶわわれの負担を最低限にということで、月額七百元。教科書は二十教科目。八月と三月の年二回レポートを提出し、二年間で四科目以上の科目に合格すれば、卒業証書が与えられる。レポートには指導教授が批評を書いてくれる。科目と教授の一部を紹介すると、日本近代文学（東大教授・吉田精一）生物学（東大名譽教授・湯浅明）宗教学（早大教授・仁戸田六三郎）心理学（早大教授・戸川行男）となっている。

卒業したからといって、社会的に認定された資格は与えられないが、しかし、この講座に学び、自分のために学ばんとして希望に胸をはずませていた私の意志を十分に満たしてくれている。ふと、私と同じような思いの人が町内にはいるのではないかと思ひペンをとってみました。

小林政一（南町・23歳）

交通安全運動期間中の事故

危険なダンプロ県道

きびしいダンプロ対策を

春の交通安全運動が5月11日から20日までの十日間、全国一斉に行なわれました。

当町でも、この期間中、交通安全対策委員会、交通安全協会、交通安全委員連絡会、各種団体を中心に、町ぐるみの運動を展開しました。

実施目標

- 車輛の安全整備と自動車損害賠償責任保険への加入
- 適正な運行管理
- 正しい横断の励行と横断歩道における歩行者保護の徹底
- 道路の正しい使用
- 子どもと老令者の安全確保
- 飲酒運転の追放
- 高速道路における安全運転

この実施目標を達成させるため幼・小・中児童生徒をはじめ、運転者、一般家庭に各行事を通じて強力に運動しました。

ところが、関係者の、せめてこの運動期間中でも無事故をという願いを裏切つて、四日目の十四日午後六時ごろ、ダンプロ県道の異名

のある富士川富沢線で、山梨交通バスに大型ダンプロが衝突、乗客十八人がケガを負うという事故が発生しました。さいわい全員軽傷でなによりでしたが、毎日の生活の恐ろしさをあらためて知らせるような事故でした。

町は、この事故を重視、なおいつそうきびしいダンプロ対策を検討しています。

運動の成果

郡下事故件数減る

去年43年一年間の庵原郡三町の交通事故結果は次のとおりです。

件数	傷者	死者	
当町	二二八	一九六	六
蒲原町	二五〇	一七八	六
由比町	一七六	一三六	九
計	六五四	五一〇	二一

三町の合計数を前年42年のそれと比較しますと、件数で89件、傷者で7人とそれぞれ減少しておりこれは、三町の交通安全に対する

きびしい構えの成果とみられますが、死者では逆に3人の増となつていて、暗い面をのぞかせています。

県下ではどうかといえますと、事故件数は四万二・五六七件、傷者三万一・四九二二人、死者六三三人となつており、前年42年と比較しますと、件数で四・四三四件の増、傷者で四・二二六人増、死者が六九人の減となっています。

高い、県道の

事故発生率

当町の43年事故件数二二八件をさらに道路別に見てみますと、国道で一三一件、県道富士川富沢線で七六件、県道岩淵停車場線六件その他一五件となつており、県道での事故発生が、その交通量とにらみ合わせるとき、非常に高率で危険性は、国道でのそれと匹敵していることが分ります。

交通安全傷害保険加入者

昨年より一千人増

44年度の交通安全傷害保険の加入状況は、四月一日現在で七・九五三人、加入率五二・六パーセント（町人口一万五・一〇三人）となつ

納税相談員に池上氏

池上憲行政相談委員は、今回、当町納税貯蓄組合連合会の委嘱も受け、納税相談員に就任しました

電話

ダイヤル回すときは番号を確かめて

電話のダイヤルを回すときは番号を確認しない人が多いのに驚く。

わたくしの家では、タクシィ会社の電話番号とよく間違えられ、とくに夜間遅く起こされて「モシモシ、〇〇タクシィ？」などといわれると現代生活に不可欠な電話も一種の兇器だと嘆かざるを得ない。少なくとも、深夜の電話使用には細心の注意を払うべきだと思ふ。

わたくしは、広報通信員としての立場から、この点をほかの方たちにもあたつてみたところ、かなりの人たちが、この種の不快を味わっていることを知つた。

電話をかけるときは、番号を確かめ、正確にダイヤルを回したいものである。

広報通信員（坂下）小田善一

齋藤房治氏

県納貯連から感謝状

県納税貯蓄組合連合会の第十回定時総会が五月十六日、下田町蓮台寺で行なわれましたが、席上、当町の齋藤房治清庵納貯連役員が感謝状を贈呈されました。

青年団、サークル活動で

機構強化はかる

新青年団長に丸山善浩君

昭和44年度の富士川町連合青年団は、五月八日午後七時、老人福祉センターで総会を開き、新役員を次のように決定しました。

新年度の青年団は、従来のように各部落単位青年団(12)を縦に編成していますが、これとは別に新企画を盛り込み、機構強化をはかっており、注目されます。単位青年団の活動、連合青年団全体活動以外に同一趣味のサークルをいくつか設け、親密な人間関係をつくり出し、青年団の活力源としようとしている点です。

バレーボール、野球、ダンス、陸上などのサークルがこれで、全町一本のサークルです。なお、広報活動も重視、連合青年団の方針を団員個々に明確に伝達するとともに、団員の声を団員の手で編集し、一般町民にも広く青年の姿を知らせようと「青年ふじかわ」(新聞年一回、回覧紙・チラシ随時)を発行し、これ以外にも、町の機関紙「広報ふじかわ」を多く利用して、青年団の動向を常に団員と町民に伝えようと考えています。

新役員

(敬称略)

町)

団長 丸山善浩 (木島)

事務局長 池田一郎(相生町)

(落合秀年(東町) 清水晃(南松野) 佐野貞幸(北松野) 五支部未定)

副団長 望月源三郎(室野)

局長 白井陽子(北松野) 佐野月美(南松野) 天野洋子(南松野) 花田喜美代(舟山町) 天野恵子(南松野) 天野雅弓(南)

〃 村野幸三 (北松野)

〃 山本ふじ枝(新町)

サークル 広報(村野幸三) バレーボール(長沼孝之) 野球(落合秀年・若野孝之) ダンス(大村正温) 陸上(清勝元)

常任理事 大村正温(上町) 長沼孝之(市場) 森山恵吾(新町) 野沢久好(幸町)

会計

天野明(南松野)

監督 落合秀年(東町) 若野孝之(北松野) 清勝元(川坂) 小池一義(北松野)

監事

佐野貞行(北松野) 白石真由美(舟山町) 望月由巳(室野)

多芸ゆみ子(舟山町) 宮本俊子(小池) 斎藤洋子(坂下) 植松容子(相生)

支部長

芦川和美(木島) 芦川道行(小山) 池田一郎(相生町) 清勝元(川坂塚町)

丸山新青年団長談「青年期とは大きな可能性を秘めた時期ではないでしょうか。諸問題の山積された現代の生活

「ユース」と「女子活動」は未定

丸山新青年団長談「青年期とは大きな可能性を秘めた時期ではないでしょうか。諸問題の山積された現代の生活

に對し、自分なりの主張をもち、また、自己の生活を高めるために他人と交際し、自己を開発する場をもつことが必要です。従来小さなわくを打ち破り、可能性をためず意味で、大きく外へ出ることを心がけていきたいものです」

はたご池まで

車で駆けま

峯山林道完成

昭和四十一年十二月一日に着工した峯山林道は、三年継続事業でことし一月三十一日に完工、四月二十八日にその完成式が現地で行なわれました。

同林道は、北松野山田からはたご池までの三・三二〇メートル。幅員は三・六メートルあり、車が楽々通れます。受益面積は八四・六ヘクタールの山林におよび、利用蓄積石数は五・三四四m³。

請負者は南松野の佐野組(佐野初次郎代表)で、事業費は五百七十万円。

経費の内訳は、県補助金三百二十八万円、地元負担百七十二万円、町費百七十一万円となっています

煙草は町内で

買いましょう



写真 完工式。はたご池で。

文協会員

四二七人となる

富士川町文化協会の総会は、五月十七日午後七時から老人福祉センターで挙行されました。中川町長ほか来賓を迎え、出席者二二四人。

予算、決算の承認、役員紹介、会員数発表(全会員四二七人)の後、恒例の懇親会にはいり、アトラクション、劇団創設の「日出坂長者」を楽しみ、和気あいあいとしたふん囲気で終了しました。

富士川町文化協会役員・敬称略

会長 秀村敏朗

副会長 天野寛・望月八代

理事長 芦川守正

常任理事 原田良之輔・杉山嶺堂

池上憲・渡辺清・若月一

郎・常盤清・甘露寺雄次

郎・加藤恵子・古木義治

池谷九万夫・芦川照江・

小野日央・久松都久陸・

斎藤博・谷莊四郎・篠田

天秀・稻垣甲子男(順不

同)

理事 芦川照江(創作読書) 斎藤

住彦(現代詩) 天野寛(短

歌) 法月幸子(俳句) 渡辺清・林

顕(絵画) 小野日央・松下好暉(

写真) 加藤恵子・太田操(書道) 久松都久陸(邦楽) 斎藤博(演劇) 望月喜子(舞踊) 常盤清・斎藤平一(詩吟) 谷莊四郎(囲碁) 望月直二郎(将棋) 池上憲(盆栽) 時田かつ江・八木保・斎藤いさお(華道) 篠田天秀(茶道) 斎藤琴子・朝比奈益江・雨宮道子(手芸) 植松順枝(盆景) 稲垣甲子男(郷土研究) 斎藤新一郎・田中好子(監事) 事務局長 池谷九万夫

編集覚書

▼ 文化生活第一の要素、町将来発展の大きな指針である浄水確保の記事を中心に組んだ。

▼ 春の交通安全運動は、例年行なわれるものだけに、記事の新鮮さが必要なのだが、この程度に終っている。

▼ 裏山で掘ったばかりの筍だと年若の友が持参してくれる。初夏の香りを噛みしめ、歪を傾けながら、六月号に思いを馳せる

▼ 広報富士川は皆さんの広報紙です。あなたの身の回りの美しい、楽しい、嬉しい話題を広く町民皆さんに紹介してみませんか。

81・一一一
広報ふじかわ 斎藤 博

富士川夜話

天正十年、織田信長の出師命令により、織田勢は信濃口、家康は駿河口、北条氏政は関東口から一斉に甲州へなだれ込んでいった。弥生六日、徳川勢が南松野郷を通過していたとき、土着の者の注進がもたらされた。
「武田の物見の小隊が平清水の奥にひそんでいる」といのである。一部の人数がこの討滅のため、街道をはずれて山のひだへ進んだ。

「そんな酷なことしなくてもええに」
「わりやあ、わしが言うことだけ聞いてりやあええ。
奴らにやあ、十五年前のお返しをしてやる。わしは、いままでこの機会が来るのを待ってたんだけ。決して、恩賞欲しさだけじゃねえ」

「そりやあ、おやじどのの仇討ちというのは分るけんどもよ」
密告に出かける茂次を送り出した女房は、沢の上方の炊煙を気の毒そうに見やった。
「さあ、おしやんち、下の家へ行くからよ。ほらほら、鼻をかんで」

現場を見おろす木蔭に身をひそめていた茂次の眼前で、凄惨な光景が展開された。
野宮の屯所は包囲され、矢が飛び、鋭い槍が突き出された。白昼のなかでの死の悲鳴、武者声、打ち合う太刀の金属音は、生臭い。不意をつかれた武田の物見たちは、次々討ち果されていった。戦いでなく、屠殺である。

一人の兵が重囲を脱し、太刀を振り回しながら茂次の方へと馳けずり上ってきた。奇妙なことに、徳川の兵は気付いていないようである。

血流川

氏車 十

後を追わず、もっぱら、袋のねずみ退治に熱中している。
兵は、ついに山にはいり、茂次の身近くに達した。さすがにがっかりとしたふうで、深傷のためか刀を杖によるめきながら灌木を踏みしめてくる。具足の片袖はふっ切れ、ざんばら髪である。見ると知った顔である。殺気だっているが、好ましい。

恐怖を全然感ぜず、すつと立ちあがったのは、哀れな状態の男を助けてやろうという意志であることに気付いた茂次は、その矛盾に

ちよつととまどったが、男がすでに茂次を見ているので声をかけた「ここにひそんでるがええ、そのうち、わしが助けてやるに」
男は、一瞬、きらりと目を光らせたが、沈黙したままだと座りこんだ。
やがて、下での闘争が終った。沢の水は血で赤く染まり、徳川勢は、死体の点検を済ませて引き揚げて行った。

「目の前が真暗だ。……頼みがあるんだが聞いてくれぬか」
「どんなことだ、わしができることなら引き受けよう」
「わしは、いつ野末で果てようと、その土地の人にとむらっていただけのよう、郷里・氏名の書き付けと銭を鎧の胴の内側にしまっただけである。あの討たれた者たちも大方そうであると思う。ぜひわしらが後生のため経文供養を頼みたい」

手招きに誘われて茂次が男のそばに近づいたとき、いきなり腹に焼け火箸をさされたような激痛を感じた。男が無造作に太刀を突き刺したのだ。
「ふふ……、ばかな奴め、こいつだ、おびき寄せた奴は。死ぬわしと一語に死ね」

この沢の下流は、誰言うとなく血流(チボ)川と呼ばれている。